

現場の声 政治に反映

党愛知県本部 3団体から要望受ける

公明党愛知県本部(荒木清寛代表)は1日、名古屋市中区で団体懇談会を開催した。これには、公明党の魚住裕一郎参院会



長、荒木県代表、伊藤渉(代表代行(衆院議員))、新妻秀規(副幹事長(参院議員))らが出席。愛知県社会保険労務士政治連盟、中部脊髄損傷者協会、愛知県生活衛生同業組合連合会の3団体から要望を受けた。

このうち、中部脊髄損傷者協会の岡崎章会長は、脊髄損傷者の生活環境の改善をめざし、①療養リハビリ期間の延長②介護保険適用

中部脊髄損傷者協会から要望を受ける魚住氏(左から4人目)ら11日、名古屋市中

の緩和と基準の明確化③車いすの障がい者が働くための職業訓練施設の設置——などを要望した。

これに対し、魚住氏らは「現場の生の声を政治に反映できるよう努めたい」と訴えた。